

九州経済産業局総務企画部長、下関市副市長、北九州市特区担当の皆様が九州職業能力開発大学校に来校されました。

8月21日（火）13：30から、
九州経済産業局 山村 直弘 総務企画部長
下関市 芳田 直樹 副市長
北九州市 安永 真一郎 特区担当課長
北九州市 佐藤 幸博 特区担当係長
の4名の方が、当大学校を見学されました。

当大学校の特徴であるものづくり分野の実践的な技術者育成の様子を2時間以上にわたり、見学していただきました。地元産業界において人材不足が危惧され、生産性の向上が喫緊の課題の中、当校の取り組みに対して大きな期待を持っていただけたようです。

（佐藤特区担当係長、山村総務企画部長、芳田副市長、安永特区担当課長）



岡田校長からのあいさつ

* 9ヶ所、見学していただきました。



海洋ロボット開発。10月に沖縄で競技会が開かれます。



平成 30 年度から新たに始まったロボットシステムコースの訓練内容と実習装置の概要を説明させていただきました。



電子情報技術科 2 年生の実習の様子を見学されました。



生産技術科実習場。手動の旋盤やフライス盤についての訓練内容を説明させていただきました。



トマト収穫ロボット開発。学生の説明に熱心に耳を傾けておられました。12 月に競技会があります。



和菓子自動梱包装置開発の取り組みを説明させていただきました。



建築科 2 年生の実習の様子。安全面の取り組みを説明させていただきました。



ET ロボコン、NHK ロボコン開発。学生はリラックスした様子で質問に答えていました。9月に予選会があります。



計量システム開発。学生が動画を使ってシステムの説明を行いました。